

《履修上の留意事項》精神保健福祉論 を履修済であることが望ましい。

《担当者名》佐々木 敏明 (客員) toshiaki-s@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

精神保健福祉論 (2年後期)の内容を踏まえ、精神保健福祉法成立までの経緯と意義について学ぶ。さらに精神保健福祉に関する制度とサービスについて精神保健福祉法を中心に理解する。

【学修目標】

- 1 現在の日本の精神保健福祉の現状を理解するため、精神保健福祉法成立までの経緯とその後の変化について知る。
- 2 ソーシャルワーカーとして実践で必要とされる知識習得のため、精神保健福祉法の概要を理解する。
- 3 ソーシャルワークの専門職として求められる状況を分析し、考察する力を身につけるために、精神保健福祉分野の課題について情報を収集し、自分の考えを述べる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	精神保健福祉士が政策や制度・施策を学ぶことの必要性とその際の視点について学ぶ	佐々木
2	社会保障全体からみた精神保健福祉に関する制度とサービス	精神保健福祉士が知っておくべき精神保健福祉に関する制度とサービスの全体について知る	佐々木
3	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法成立までの経緯	佐々木
4	精神保健福祉法の成立までの経緯	わが国における精神保健福祉の歴史 精神保健法以降、精神保健福祉法成立まで経緯	佐々木
5	精神保健福祉法成立の意義、その後の変化	精神保健福祉法成立以降の変化 精神保健福祉法の変遷(法改正の背景と内容について知る)	佐々木
6	精神保健福祉法成立の意義、その後の変化	精神保健福祉法成立の意義について考える。 グループディスカッション	佐々木
7	精神保健福祉法の概要	精神保健福祉法の目的および対象 医療および保護 入院制度と精神保健福祉士の役割	佐々木
8	精神保健福祉法の概要	保健および福祉 精神障害者保健福祉手帳	佐々木
9	精神保健福祉法の概要	最近の動向 直近の精神保健福祉法の主な改正点についてまとめる。	佐々木
10	世界の精神障害者福祉施策	精神科病院を廃止したイタリアのトリエステについて知り、日本との違いについて考える。	佐々木
11	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	障害者基本法と精神障害者施策とのかわり	佐々木
12	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	障害者総合支援法成立の背景	佐々木
13	精神障害者等の福祉制度の概要と福祉サービス	障害者総合支援法における精神障害者の福祉サービスの実際	佐々木
14	日本における精神保健福祉の現状と課題	日本の精神保健福祉の課題の中で、グループ毎にテーマを決め、話し合った内容について発表する。	佐々木
15	精神保健福祉の最近の動向	前期授業の振り返りとまとめ 前回のグループプレゼンテーションの内容を踏まえて、クラス全体で日本における精神保健福祉の今後について	佐々木

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
		ついて考える。	

**【授業実施形態】**

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

**【評価方法】**

課題レポート10%、プレゼンテーション40%、定期試験50%

**【教科書】**

日本精神保健福祉士養成校協会編集 『新・精神保健福祉士養成講座 精神保健福祉に関する制度とサービス 第6版』 中央法規（2017）

**【参考書】**

『社会保障の手引き 施策の概要と基礎資料 2020年度版』 中央法規

**【備考】**

この科目は、精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健福祉に関する制度とサービス」に該当する。

**【学修の準備】**

指定した法律の内容を調べノートにまとめる。

グループプレゼンテーションのテーマにそって必要な資料を集め、グループ討議を繰り返しながら、発表の準備をする。

毎回の授業内容を確認し、教科書、必要な資料等を事前に読んで予習しておくこと。（80分）

授業のリアクションペーパーに書いた疑問点を中心に内容を整理し学習を深める。（80分）

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,4

**【実務経験】**

精神科ソーシャルワーカー、精神保健福祉行政

**【実務経験を活かした教育内容】**

精神科病院、精神保健福祉行政で精神科ソーシャルワーカーとして働いた経験を活かし、実践的な教育を行う。